



あじさいに想いを込めて

6月を迎え、雨の季節ならではの彩りとして、あじさいが美しく咲く時期となりました。

雨に濡れながらも色鮮やかに花を咲かせるあじさいは、私たちの心を和ませ、季節の移ろいを感じさせてくれる花です。

あじさいの花言葉には、「家族団らん」や「和気あいあい」といった意味があるとされています。小さな花が集まり、一つの花を形づくる姿は、人と人とが支え合いながら暮らす地域の姿にも重なります。

本市では、上尾丸山公園において、令和7年から3年間で1,300株のあじさいを植栽する事業を進めています。今年は550株もの植樹を予定し、多くの方に親しまれているこの公園が、四季を通じてより魅力ある場所となるよう取り組んでいます。

また、昨年11月には平方北小学校の6年生の皆さんとともに、あじさいの植樹会を行いました。参加した児童からは、「花が咲いたら、みんなと見に来たい」と話す声もあり、楽しそうな表情が印象的でした。

木や花は、時間をかけながら、ゆっくりと確実に成長し、やがてまちの風景の一部となります。将来、子どもたちが大人になったときに、「あのとき植えたものだ」と振り返ることのできる、そんな存在になってほしいと願っています。

こうした花や緑を大切にする取り組みを通して、これからも市民の皆さんとともに、心豊かに暮らせる上尾のまちづくりを進めていきたいと考えています。



アジサイ植樹会で平方北小学校の6年生の皆さんと